

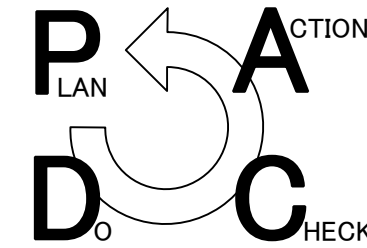
政策名	4環境にやさしい港	施策推進 責任者	企画調整室長 総合開発担当部長
基本施策名	06秩序ある港湾環境づくり		
個別施策名	19循環型社会の形成を支援する		

### 1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	県市民、港湾利用者、廃棄物を排出する企業					
	サービスの対象物(何を)	都市・港湾活動に伴い発生する廃棄物、循環資源					
	意図(どういう状態にしたいのか)	適切に処理・再生し、都市・港湾活動を円滑に持続させる					
内容	循環資源貨物の増加に対応して、静脈物流拠点の形成を進めるとともに、背後地域より発生する廃棄物や港湾施設維持に伴うしゅんせつ土砂について海面処分場の確保を図り、循環資源や廃棄物を適切に再生・処理し、都市・港湾活動が円滑に持続できるようにしていきます。						
目標	しゅんせつ土砂、廃棄物の処分場の確保を図るとともに、静脈物流にかかる取扱貨物量増加への対応を図ります。	目標達成に影響する外的要因等 世界の景気動向による貨物量の減少					
	成果指標名	単位	実績			目標	指標の説明(式)
静脈物流にかかる取扱貨物量	実績目標	千トン	H19年	H20年	H21年	前年比増	毎年目標。弥富ふ頭の金属くず取扱量
	達成率	%	173	173	217		
しゅんせつ土砂処分場確保容量	実績目標	万m <sup>3</sup>	0	0	0	930	H27年度目標。計画処分量から処分実績及び仮置き場容量を除いたもの
	達成率	%	0.0	0.0	0.0		
一般廃棄物受入可能容量	実績目標	万m <sup>3</sup>	0	0	0	10	H26年度目標
	達成率	%	0.0	0.0	0.0		

### 4. ACTION(取組)

取組の方向性			
成果	拡大		○
	維持		
	縮小		
			縮小 維持 拡大
コスト			
判断の理由			
しゅんせつ土砂処分場の確保は、喫緊の課題であり、早急に土砂処分場計画を策定することが必要であり、また、循環型社会を構築するには、積極的な港湾エリアの活用が望まれていることから、これらの施策展開により成果の拡大を図る必要があるため。			



### 3. CHECK(個別施策の実現に向けた今後の展開方向)

現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> <li>しゅんせつ土砂処分場用地であるポートアイランドは限界に近づいており、新たな処分場用地の確保は急務です。</li> <li>平成22年6月、中部地方整備局では、「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン」に基づき名古屋港で発生するしゅんせつ土砂の新たな処分場計画を策定手続きを開始し、新たな土砂処分場を港外を含めて検討を開始しました。</li> <li>稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業は、法令改正により護岸構造の強化が必要となり、名古屋市や国との協議に時間を要し、事業着手が遅れています。</li> </ul>	
構成事務事業の適正性 (事務事業の構成内容の妥当性)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業構成は概ね妥当であると考えます。</li> </ul>	
今後の展開方向 (新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートアイランドの処理能力を考慮すると、早期にしゅんせつ土砂処分場計画を策定する必要があります。</li> <li>今後も発生し続けるしゅんせつ土砂の処分を円滑に進めるため、中部地方整備局が行う新たな土砂処分場計画の策定に協力していきます。</li> <li>稲永ふ頭及び弥富ふ頭の廃棄物埋立護岸の整備は、目標年度の完成を目指して、事業進捗を図っていきます。</li> <li>環境影響評価手続き等を早急に行い、今後も需要が高まる廃棄物処分場の整備を進めます。</li> <li>静脈物流拠点配置計画に基づきサイクル関連企業の集約に向けて、具体的な検討を進めます。</li> </ul>	

### 2. DO(個別施策を構成する事務事業の今後の方向性)

重点化	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)				目標値 (目標年度)	21年度 末までの 状況	今後の方向性		判断の理由等	
				H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			事務事業 の 方向性	取組の方向性		
				実績 決算額	実績 決算見込額	目標 予算額	目標 予算額				成果		コスト
◎	しゅんせつ土砂処分場計画の策定(4061901)	継続的に発生するしゅんせつ土砂の大規模処分先について、国土交通省中部地方整備局と調整するとともに、土砂処分場の確保に向けた検討・調査を行い、しゅんせつ土砂処分場計画を策定します。	検討内容の進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	20 20	10 30	20 50	40 90	100 (H23)	遅れ	終了		ポートアイランド等の受入能力を考慮しても、早急に処分場計画を策定する必要があるため。	
	一般廃棄物最終処分場計画への協力(港湾計画の策定)(4061902)	稲永ふ頭における名古屋市の一般廃棄物最終処分場計画に関する調整を行います。	港湾計画に位置づける	- 2,084	1 2,105			1 (H20)	完了			20年度軽易な変更にて対応	
	静脈物流拠点配置計画の策定(港湾計画の策定)(4061903)	静脈物流への対応方針に基づき、静脈物流関連の貨物及び企業立地の動向を調査研究し、西部地区の静脈物流拠点の適正な配置の検討を行います。	策定進捗率(%)	33.0 1,303	10.0 1,316	57.0 1,287		100 (H21)	完了			21年度軽易な変更にて対応	
	稲永ふ頭廃棄物処理場の事業化(4061904)	稲永ふ頭における埋立護岸等の基本設計を行い、国土交通省と予算に関する調整を行います。	事業採択(回)	- 174	1 175			1 (H20)	完了				
	稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業(4061907)	稲永ふ頭に廃棄物埋立護岸を整備し、一般廃棄物及びしゅんせつ土砂等の処分場を整備します。規模:4.9ha	事業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)			0.1 0.1	0.0 0.1	100 (H26)	遅れ	継続	➡ ➡	法令等の改正による見直しに伴い遅れていますが、環境影響評価手続き等を早急に行い、今後も需要が高まる廃棄物処分場の整備を進める必要があるため。	
	弥富ふ頭第1貯木場南側廃棄物処分場の事業化(4061905)	弥富ふ頭第1貯木場南側における廃棄物埋立護岸の基本設計を行うとともに、国土交通省と予算に関する調整を行います。	事業採択(回)	- 174	1 175			1 (H20)	完了				
	弥富ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業(4061908)	弥富ふ頭第1貯木場南に廃棄物埋立護岸を整備し、しゅんせつ土砂処分場を整備します。規模:9.6ha	事業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)			0 0	20.3 20.3	100 (H24)	順調	継続	➡ ➡	計画通り順調に進める必要があるため。	
○	南5区第2期土砂処分場に関する調整(4061906)	南5区第2期開発に係る現況把握及び地元関係者(知多市、漁業協同組合、アセック)との情報交換を行います。	漁業協同組合の合意形成件数(件)	0 8,837	0 8,949	0 6,780	3 6,232	3 (-)	遅れ	継続	➡ ➡	地元関係者と継続して情報交換を行っていくため。	
注) 事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。				施策コスト(事業費合計)	19,520	19,736	14,766	346,868					

注) 目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。